

第18回桜井市地域ブランド認定推進委員会 会議録（要約）

開催日時	令和元年6月11日（火） 午後2時～3時30分
場 所	桜井市保健福祉センター「陽だまり」2階 会議室2
出席者	<p>【委員】 福井達郎氏（桜井市商工会）、林勤氏（桜井市観光協会） 仲出浩嗣氏（奈良県農業協同組合）、津田康英氏（奈良県立大学） 上地加容子氏（畿央大学）、山本卓司氏（奈良県中部農林振興事務所） テリー植田氏（東京カルチャーカルチャープロデューサー）</p> <p>【欠席】 岩本亨氏（桜井木材協同組合）</p> <p>【事務局】 遠藤政男（まちづくり部長）、倉田悟（観光まちづくり課長） 廊坊明彦（観光まちづくり課副主幹） 高井勇人（観光まちづくり課観光事業係主任）</p> <p>【取材及び傍聴】 なし</p>
司会	ただ今より第18回ブランド認定推進委員会を開催する。ご多忙の中ご出席を賜り感謝する。今年度から参加いただいている委員もいらっしゃるため、お一人ずつ紹介させていただく。
委員紹介	
司会	ここからは、議事進行を福井委員長にお願いしたい。
福井委員長	では、議題2の「第5回大和さくらいブランド認定品 申請受付について」、議題3「第2回大和さくらいブランド認定品の更新について」事務局より説明願う。
事務局	<p style="text-align: center;">（説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付期間や方法について確認 ・チラシの校正 ・今年度の更新方針について確認
福井委員長	何かご意見、ご質問があればお聞きしたい。
意見・質問なし	
福井委員長	次に、議題4「農産物を審査・認定する際の課題について」事務局より説明願う。
事務局	<p style="text-align: center;">（説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物を審査する際の課題について説明
山本委員	奈良県が実施している「奈良県プレミアムセレクト（奈良県農畜水産物ブランド認証制度）」では、審査する対象が年に1～2つと少ないため、審査する農産物等の収穫時期に合わせて審査会を実施している。

上地委員	農産物の審査については、応募したい事業者から事前に収穫時期を聞いておき、次年度の審査会の時期をそちらに合わせる、という対応はどうか。
林委員	農産物にターゲットを絞るのであれば収穫時期を把握する必要がある。
仲出委員	農産物を積極的に認定したいという思いはあるが、実際に応募いただけるのか疑問である。
津田委員	事業者にどのタイミングで申請いただくのかも重要である。例えば、収穫時期直後に申請時期が被っていれば「申請してみよう」と思っていただけだが、全く関係ない時期であれば興味を示していただけないかもしれない。
テリー委員	審査項目①（独自性・優位性）と②（物語性・伝統性）に重きを置きすぎると、ほとんどの農産物が審査を通過できない。仮に①②の要素が足りない場合も、「売れそう」「話題になりそう」といった商品は認定し、大和さくらいブランド全体の活性化を図るべきではないか。そのためには、審査の前に何を重視すべきか委員全員で共有する必要がある。
福井委員長	同じ事業者が何品も申請していることにどう対応・審査するのかについても課題が残っているため、一定の基準を定めるべきである。
林委員	今後のことを考えると審査のハードルを下げる事は有用であると考えます。
上地委員	桜井市で主に収穫できる野菜の収穫時期を現時点で把握してはどうか。
山本委員	(奈良県がプロデュースしている「大和野菜」についてご紹介いただく) 農産物の申請については、団体である必要があるのか、個人でも良いのか、これまでの見解を伺いたい。
事務局	(過去に審査した農産物等について説明。ただし、特定商品の審査内容を含むため、本議事録には残さない)
津田委員	農産物に関しては、特定の農産者が生産しているものだけを認定すると、同じ組合内や地域内で反発が生まれる可能性があるため、慎重に協議すべき。
仲出委員	大和さくらいブランドのような地域ブランドは、実際に消費者の手に届きやすい運用をすることが原点であると考えます。そうすると、例えば特定のスーパーや農業組合にのみ卸している生産者を認定する事は、趣旨から外れるのではないかと。
林委員	同じ地域で同じ農産物を育てている農産者がいたとして、どちらか一方のみを認定するのは難しい。
山本委員	大和野菜に関しては野菜の種類そのものに認定しており、奈良県プレミアムセレクトや特定栽培農産物などは、一定の基準を満たした団体全てに認定している。個人の農産者に認定している例はない。
林委員	農業協同組合の実施している農産物品評会にて評価された農産物を認定するのはどうか。
津田委員	地域団体商標や、宇陀市の特産品・名産品の制度を参考にしてみてもは。
福井委員長	地域ブランド制度を実施している他団体の農産物審査に関する現状を調査してほしい。

事務局	皆様からいただいた意見を踏まえ、各課題への対応策を次回の委員会の中で報告させていただきます。
福井委員長	他にご意見、ご質問がなければ、次に、議題5「年間スケジュールについて」事務局より説明願う。
事務局	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の年間スケジュールを説明 ・7月6日ー7日に有楽町の東京交通会館でイベントを行う事を告知 ・次回委員会(10月)のスケジュールについて
福井委員長	何かご意見、ご質問がなければ、次回の委員会の日程を決めたい。 (次回の委員会日程調整) 10月17日(木)に決定する。 他にご意見、ご質問があればお聞きしたい。
事務局	やまとびと(株)から、現在認定されている「HASE ドーナツ」を近々販売停止するということをご報告をいただいたので、認定取り下げの準備を進めている。
福井委員長	他にご意見、ご質問がなければ、これにて本日の委員会を閉会とする。